

問1 鎌倉時代の武士の家において、それまで行われていた「分割相続」には、ある重大な社会的な弊害がありました。その内容として正しいものはどれですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 世代交代を繰り返すたびに一族の領地が細分化され、生活が困窮する武士が増えた。
2. 長男のみがすべての領地を継ぐようになったため、次男以下の不満が高まり反乱が頻発した。
3. 幕府が土地の売買を全面的に許可したため、有力な商人にすべての領地が買い占められた。
4. 土地を分割する際に面積ではなく収穫量で分けたため、気候変動による飢饉の影響を強く受けるようになった。

問2 1192年に朝廷から征夷大将軍に任命され、それまでになかった本格的な武士の政権である鎌倉幕府を開いた人物は誰ですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 源頼朝
2. 平清盛
3. 足利尊氏
4. 豊臣秀吉

問3 日蓮宗を含む鎌倉新仏教が、それまでの貴族を中心とした伝統的な仏教（旧仏教）と異なり、当時の武士や民衆に広く受け入れられた背景として、最も適切な理由はどれですか。（2023年 愛知公立入試 類似）

1. 悟りを開くための厳しい修行や、難しい経典の暗記を必要としない簡潔な教を説いたため。
2. 朝廷の厚い保護を受け、国家の安泰を祈る大規模な儀式を専門的に行うようになったため。
3. 山奥に寺院を建て、俗世間から完全に隔離された環境で真理を追究することを重視したため。
4. 身分の高い貴族だけが救済されるという特権的な教を広め、支配階級の支持を固めたため。

問4 モンゴル帝国はフビライ・ハンの時代に中国全土を統一しましたが、その際、それまで中国南部を支配していた王朝を滅ぼし、遊牧民族による初の中原（中国の中心部）統一を達成しました。この時、元によって滅ぼされた王朝の名前を次の中から選びなさい。（2022年 愛知公立入試 類似）

1. 南宋
2. 明
3. 金
4. 高麗

問5 1221年に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして兵を挙げた承久の乱の後、鎌倉幕府は西国の支配を強化するためにどのような措置を講じましたか。最も適切な説明を選びなさい。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 上皇側の所領を没収して東国の武士を新補地頭として配属し、さらに朝廷の監視と西国の統括を行う六波羅探題を設置した。
2. 全国に守護・地頭を設置する権利が初めて認められたことを受けて、すべての荘園に地頭を送り込み、朝廷の徴税権を完全に停止させた。
3. 豊臣秀吉が北条氏を滅ぼした際と同様に、西国の武士から武器を没収する刀狩を行い、幕府による一元的な兵農分離を断行した。
4. 朝廷の権威を否定するために征夷大将軍の職を廃止し、執権が京都に常駐して直接天皇の政務を代行する仕組みを整えた。

問6 1221年、鎌倉幕府の混乱に乗じて朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇が、幕府を倒すために兵を挙げた出来事を何といいますか。（2021年 愛媛公立入試 類似）

1. 承久の乱
2. 保元の乱
3. 平治の乱
4. 応仁の乱

問7 鎌倉時代、源平の争乱で焼失した東大寺南大門が再建される際、その建築には当時の中国から伝わった新しい様式が取り入れられた。この建築様式が伝わった中国の王朝として正しいものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 隋
2. 唐
3. 宋
4. 元

問8 鎌倉幕府が1297年に「永仁の徳政令」を発布せざるを得なくなった背景として、最も適切な説明はどれですか。元寇（文永の役・弘安の役）後の社会状況に着目して答えなさい。（2024年 石川公立入試 類似）

1. 二度にわたる防衛戦において新たな領土を獲得できなかったため、十分な恩賞を与えられず、借金に苦しむ御家人が増えたから。
2. 承久の乱以来、西国の支配を強めるための戦費が膨らみ、御家人の負担を軽減するために土地の売買を奨励したから。
3. 北条氏による執権政治への不満が高まり、有力な守護たちが幕府の許可なく独自に土地の返還を始めたから。
4. 博多湾沿いに防塁を築くための多額の費用を御家人が負担したことで、貨幣経済が衰退し、物々交換による救済が必要となったから。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 世代交代を繰り返すたびに一族の領地が細分化され、生活が困窮する武士が増えた。	鎌倉時代に一般的だった分割相続は、子孫が増えるたびに土地が細かく分けられる仕組みであったため、数世代経つと一人の御家人が得られる収入は極めてわずかなものになってしまいました。この状態を「領地の細分化」と呼びます。武士は自力で軍装備を整えなければならなかったため、この経済的な困窮は御家人制度の根幹を揺るがす深刻な問題となりました。のちにこの弊害を避けるため、一人の子がすべてを継ぐ単独相続へと変化していくことになります。
問2	答え 1 源頼朝	平氏が壇ノ浦の戦いで滅ぼした後、1185年に守護・地頭を設置する権利を得て全国的な支配権を固めました。1192年には征夷大將軍となり、鎌倉を拠点とした武士による政治の仕組みを整えました。選択肢にある平清盛は平安時代末期に武士として初めて太政大臣となった人物、足利尊氏は室町幕府の創始者、豊臣秀吉は安土桃山時代に天下を統一した人物です。
問3	答え 1 悟りを開くための厳しい修行や、難しい経典の暗記を必要としない簡潔な教説を説いたため。	鎌倉新仏教の大きな特徴は、「選択（せんちやく）・専修（せんじゆ）・易行（いぎよう）」にあります。日蓮宗であれば題目を唱えること、浄土宗であれば念仏を唱えることなど、特定のやさしい修行に絞ることで、学問や時間的な余裕がない武士や民衆でも救われると説いたため、急速に広まりました。これに対し、旧仏教である真言宗などは、貴族の加持祈祷や学問的な傾向が強いものでした。
問4	答え 1 南宋	モンゴル帝国は、まず北方の「金」を滅ぼした後、1271年にフビライ・ハンが国号を「元」と改めました。その後、1279年に中国南部の「南宋」を滅ぼしたことで、中国全土の支配権を確立しました。この統一により、ユーラシア大陸にまたがる大規模な交易ネットワークが形成され、東西の文化交流がより一層活発になりました。
問5	答え 1 上皇側の所領を没収して東国の武士を新補地頭として配属し、さらに朝廷の監視と西国の統括を行う六波羅探題を設置した。	承久の乱で幕府方が勝利したことにより、幕府の権力はそれまで影響力が弱かった西国（西日本）にも及ぶようになりました。敗れた上皇方の所領（約3000か所）は幕府に没収され、そこに功績のあった東国武士が「新補地頭」として任命されました。また、京都には朝廷の監視や西国の軍事・裁判を担う「六波羅探題」が設置され、幕府の支配体制は全国的なものへと拡大しました。
問6	答え 1 承久の乱	鎌倉幕府の3代将軍・源実朝が暗殺された後の混乱を機に、後鳥羽上皇が執権の北条義時を討つよう命じて起こした反乱です。幕府軍が勝利した結果、朝廷を監視するために六波羅探題が設置され、幕府の支配力が西日本にも強く及ぶようになりました。応仁の乱は室町時代に起こった戦いです。
問7	答え 3 宋	鎌倉時代初期、重源を中心に行われた東大寺の再建事業では、当時日宋貿易などを通じて交流があった中国の宋（南宋）から伝わった、大仏様（天竺様）と呼ばれる雄大で力強い建築様式が採用された。選択肢にある元は、鎌倉時代中期以降に日本へ襲来（元寇）した王朝であり、東大寺再建の時期とは異なる。
問8	答え 1 二度にわたる防衛戦において新たな領土を獲得できなかったため、十分な恩賞を与えられず、借金に苦しむ御家人が増えたから。	元寇（文永の役・弘安の役）は、モンゴル帝国という外部勢力からの侵攻を退けるための防衛戦でした。国内の反乱を鎮圧した承久の乱などとは異なり、敵から没収して恩賞として配るための土地が得られませんでした。そのため、重い軍役を負担した御家人は、生活のために所領を売却したり質に入れたりして困窮しました。幕府は主従関係の基盤である「御恩と奉公」の仕組みを維持するため、御家人の所領を取り戻させようと永仁の徳政令を出しましたが、結果的に経済の混乱を招き、幕府の権威が揺らぐ原因となりました。